



～より参加者の“身”となる活動へ～  
関西部会活動状況報告

XMLコンソーシアム関西Day

関西部会

株式会社ブレインワークス 芦田 尚人

## 本日の発表



2007年度活動検討  
現状の問題点  
解決策検討

2007年度活動報告  
1)技術習得  
実装技術  
SOA  
2)情報共有  
3)外部団体交流

2008年度活動方針  
活動方針



## 参加メンバー(今年度活動者)



XML Consortium

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| ■ マイクロソフト       | 依田 忠高         |
| ■ 日本アイ・ピー・エム    | 佐治 和也         |
| ■ 日本ユニシス        | 松岡 慎治         |
| ■ コベルコシステム      | 幸田 健(サブリーダー)  |
| ■ アークウェイ        | 丸山 和秀(サブリーダー) |
| ■ プレイニーワークス     | 中川 聖悠         |
| ■ プレイニーワークス     | 伊川 和宏         |
| ■ プレイニーワークス     | 松尾 萌          |
| ■ プレイニーワークス     | 宮原 功拓         |
| ■ プレイニーワークス     | 芦田 尚人(リーダー)   |
| ■ 日本アイ・ピー・エム    | 伊藤 健太郎        |
| ■ 日本システムウェア     | 松本 真由子        |
| ■ 日立システムアンドサービス | 高嶋 裕          |
| ■ プレイニーワークス     | 山田 恭子         |
| ■ ラコム株式会社       | 花田 善仁         |

新しい方が4名参加  
 他にも潜在メンバーは、3名  
 記載以外にも、業務都合で今年度参加できていないだけで  
 必ず出欠の連絡者



## 2007年度活動検討



XML Consortium

### 2006年度までの活動問題点

#### 自社への活動意義報告

現状の職務と離れた技術は、社業貢献につながりにくい。  
 活動報告と職務との関連の説明が困難。

#### 活動内容の斬新さの欠如

実装(いまどこ)、情報共有(共有TOOL)、事例収集(2年強)  
 既存参加者のモチベーション  
 新規参加者の参入障壁の撤廃

#### 活動者の減少

既存参加者の業務都合  
 新規参加者の減少 参加による刺激の減少

## 2007年度活動検討



### 解決策検討

#### 自社への活動意義報告

会社で注目技術の取り込み  
各自の職務からヒントを。

#### 活動内容の斬新さの欠如

新規テーマ  
メンバー以外との接触

#### 活動者の減少

上記条件を満たしつつ、従来のあらゆる立場での活動基盤  
減少した状態でも活動の継続性

継続：明るく、楽しく活動する。

## 2007年度の活動骨子



本来の業務による活動者の減少

参加者固定化による活動の閉塞感

参加者の身近な情報による情報共有

新たな実装への挑戦

社内で直目されるSOAへの取り組み

参加者とは異なる環境の方々との交わり

# 2007年度活動



## 1. アーキテクチャ、実装

テーマを決定し、2つのアプローチ  
ビジネスプロセスモデリング---SOA  
単純なサイト作成

## 2. 身近なIT業界を知る

各自の業務の紹介と着目技術の共有

## 3. 他団体との交流

技術者としての刺激

# アーキテクチャ、実装概要



## 1. 内容

フラワーアレンジ販売サイトの作成

## 2. テーマ設定理由

業務限定で、ビジネスプロセスの複雑化を防ぐ  
メンバーの興味(要件を決定しやすい)

## 3. 実施方法

SOA(サービス導出)、サイト作成の2つの並行実施  
1. SOA---ビジネスプロセスモデリングから、サービス抽出  
2. 画面構成からサイト作成

# システム要件

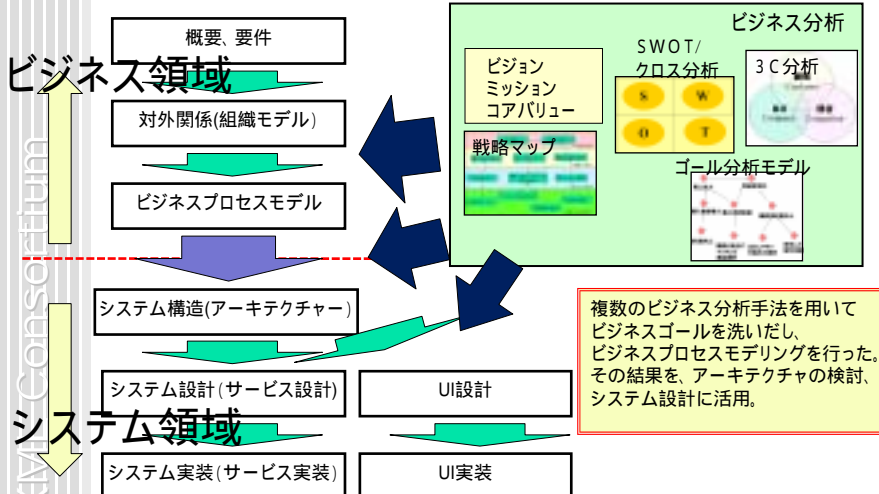


## 1. 概要検討

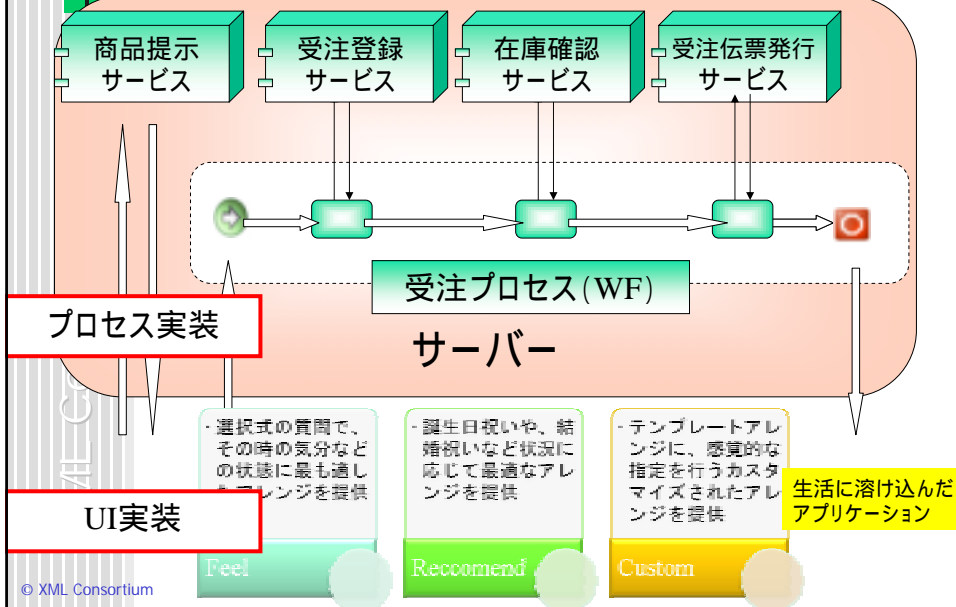
- ビジネスモデル(どのような花屋にしたいか)
- ・販売物
  - 花、鉢植え単体の販売はなし
  - 独創的なフラワーアレンジメントのみ販売
  - アレンジの花はあらゆる種類を準備
- ・販売方法
  - ネット販売のみ
  - 予約販売、定期注文が可能。場所により当日注文可能
- ビジネスモデル(特徴---上記以外)
  - カタログパターンを提供して顧客が選択
  - 顧客は、「もっと豪華に」「もっと安く」など感覚的に注文可能
  - 気分、うらない等によるアレンジ自動生成
- 対外関係
  - ・農家のみ提携する(卸の場合、特徴のある花に限られる。)
  - ・いつでも全商品の在庫がある(農業共同組合)
  - ・対象顧客は全国
  - ・受注量に応じて、フラワーアレンジャーを追加する(アウトソーシング)
- お金関係の考え
  - ・現状はお金に関しては考えない。

シナリオ作成

# 設計・実装手順



# 実装イメージ



© XML Consortium

# 情報共有



## 要望

他の仕事を知りたい。  
現実に使われている技術を知りたい。  
トレンドを知りたい。

## 理由

セミナーと現実にギャップを感じる。  
現場にいと現実的な状況が見えない。  
現実的な刺激を受けたい。  
参加者の人を知りたい

## 実施頻度

毎月1名(参加者状況により3回実施)

## 実施内容

現状の業務  
or 現状の着目技術  
or 周りで行われていること  
などの報告

© XML Consortium



# 外部団体交流



XML Consortium

## 経緯

部会参加者が、限られる中、あらゆる刺激を受けていきたい。  
魅力ある部会運営  
部会参加者は、IT業界である。  
異なる考え方の意見も聞きたい。

これこそが、【コミュニティ】

## 実施内容

大学研究室ゼミ生との会合

## 実施日

7月&11月

## 参加数

学生、教授：15～20名

部会：8名

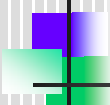
## 実施内容

双方からの紹介発表

大学：研究室紹介、卒論紹介

部会：Web2.0アプリ紹介他

ワークグループに分かれたワークショップ  
(関西独自のシステムを考える、etc)



# なぜ、実施したか？



XML Consortium

大学

・現在の状況を知って、研究をすることで、価値ある研究になる。

コンソーシアム関西部会

・現在の研究領域を知ること、現在のシステムの考える糧になる。  
・世代の違う人たちのスタイル、考えを知ること、次のシステム検討の参考になる。

メンバーの技術興味

メンバーの新規情報源

部会の活性化

## 第一回座談会(ワークショップ)詳細



### 1. 座談会:

#### 議題

ワークグループに分けて話してみる(3チーム6人ずつくらい)

1. 議題1:世の中のITの方向性:
  1. こんなことできたらええなー
  2. 普段こんなふうにつかってまっせ!
2. 議題2:企業システムの方向性  
会社でのシステムはどうであつたらいいか?  
会社でのシステムはどうあつてほしいか?
3. 議題3:関西とIT  
関西でのITっていう特性はあるのか?  
もし、仮に関西独自で考えたらどんなITがあるか?

例)感情表現が行えるXMLMailer  
システム及びXMLのプロ+現在の  
生活を考慮し、検討

## 第二回座談会詳細



### 1. 座談会:

#### 議題

ワークグループに分けて話してみる

1. ビジネスモデル  
ITにおける産学合同で何ができるか?
2. ITヒューマン  
ITの担うための組織内ヒューマン構造(プログラマの地位)
3. 地域独自性  
ITにおける関西独自性のあるシステム
4. IT環境  
企業システムとパーソナルシステムの在り方



## 第二回座談会発表例



### 1. 地域独自性

おばちゃんシステム

携帯というものでなく象徴である自転車への組み込み

機能:

井戸端会議情報収集

特売情報収集

突っ込み機能

移動状況に応じた情報が集められる。



こういうまとめを実施するにあたって……

携帯を含め小さくなった端末も

使わない人は使わない。

多くの情報を集めれる方策が検索エンジンでは

なくあるべき。等など

考えるべき課題が多く登場



## 座談会を通じて感じた内容



### 参加者意見

普段のかかわる年代とは異なり、生活スタイルから刺激を受ける。

研究開発内容も、現状のビジネスとは異なる観点のため、発想が養われる。

発想自体が、ユニークであり刺激を受ける。

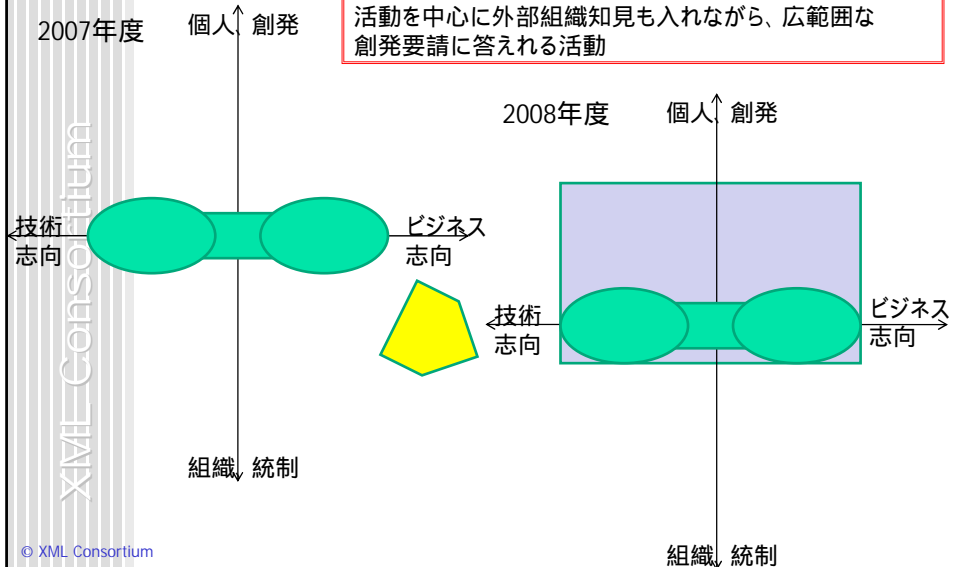
こちらよりビジネスのことを話をすることにより、知らない世界への興味で喜ばれ、うれしい。

今後も継続を行いたい。(参加者全員の意見)

さらに、学校以外にも……

機会があれば、会合の申し出を行い、参加者が刺激をうける場を設けたい。

## 2008年度の活動



## 2008年度の活動



2007年度で新規の方4名参加

参加者の身近な情報による情報共有  
(新規の方の知識も注入してもらいながら活性)

新たな実装への挑戦

社内で直目されるキーワードへの取り組み(2007年:SOA)

参加者とは異なる環境の方々との交わり



## 新メンバーの募集



参加資格: コンソーシアム会員企業であること  
新規参加でOK

参加にあたっての気持ち  
自分が部会を作るマインド  
なんかちょっと参加してみよう  
関西でつながりを持ちたい  
どれでもOK

参加の利点  
つながりがもてる  
個人、企業になりスキルを得ることができる

参加先立ち  
コンソーシアム事務局へ連絡する  
芦田まで連絡する  
今日、教えてもらえればOK